

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 火災での人的・物的な煙害及びその可能性についての調査を実施する。研究課題についての共通認識、方構成の合意事態がこれからという段階。早急に、方向性、研究活動課題について意見統一を図りたい。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>1. メンバー構成、内容が防排煙技術の告示作成に関わる官庁の検討委員会とかなり重複しており、議論が別の場で進んでいる。またアカデミックな面からの研究課題としての明確な方向性が見えないのも活動のモチベーションの維持の課題である。</p> <p>2. 委員会のメンバーの年齢構成が高くなってきており、日程調整も研究活動に避ける時間も制約されつつある。今後、若手研究者の参加が、本委員会の活性化の上では不可欠である。</p> <p>3. 電子会議やメールの活用をすることにより、今後活性化を図ってきたい。</p>

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。